

医療の質・安全学会 第5回 学際的医療研究のための入門講座
「医療現場で人を観ること」ご案内

主催：医療の質・安全学会 学際共同研究推進委員会

協力：(株)日立製作所 デザイン本部

医療の質・安全学会学際研究の学際的医療研究のための入門講座は、これから医療研究に踏み出していききたい非医療系研究者と、そうした研究者と現場に役立つ研究を進めていこうとする医療関係者のためのワークショップです。テーマに関連する医療の基礎知識を身につける基礎講座（1日目）と実際にそうした学際的研究を行っていくうえで、どのような研究をどのように行っていくのかを議論していくワークショップ（2日目）の構成となっています。

第5回目の今年は「非医療系の研究分野で医療にとって役に立ちそうな領域は何か？」を考え、「人の認知・行動・活動の分析をする&その結果を役立てる」ことをとりあげて、患者さんの（病気以外での）行動観察・分析，ならびに医療者の活動の観察・分析について、医療安全・質向上に役に立つ学際研究のあり方を考えていきたいと思えます。

医療現場と他領域の研究者をつなぐ第一歩としての入門講座に、ぜひご参加ください。

記

日時： 2011年9月9日（金）8時45分 ～ 10日（土）17時

場所： (株)日立製作所 デザイン本部

東京都港区赤坂5丁目3-1(赤坂Bizタワー)

地下鉄千代田線 赤坂駅 徒歩1分 / 銀座線丸の内線 赤坂見附駅徒歩5分

詳しい場所ならびに入館方法については、参加者に後日ご連絡いたします。

基礎講座：テーマと講師

認知症について：榊原隆次先生（東邦大学・佐倉病院・神経内科准教授）

ICUとは何か、患者のモニタリングとは何か：藤野裕士先生（大阪大学病院集中治療部）

患者の転倒転落の現状と予防：長尾能雅先生（名古屋大学 医療安全管理部）

重度者の在宅療養におけるインシデント・アクシデント：

小倉朗子先生（東京都医学総合研究所難病ケア看護研究室）

ワークショップ話題提供：人の行動分析を考える

基礎知識としてのユビキタス/ライフログ技術の現在：矢野和男氏(予定：日立中央研究所)

対象：

医療研究に興味を持つ社会科学系（社会学/心理学/認知科学ほか）、理工学系（情報科学/人工知能/人間工学ほか）の研究者、あるいは、本テーマに関連して非医療系研究者との学際的共同研究に興味を持つ医療関係者、研究者、合わせて30名程度。

・医療の質・安全学会および各学会に対して公募し、希望者が多いときには書面選考を行い、同一条件の場合は、若手研究者を優先します。

・原則として、全日程に参加できる方を優先いたします。

参加費：9月9日懇親会費，ならびに9月10日昼食を含みます．

学生(大学院生を含む) 3,000円

一般 6,000円

- この参加費は，上記の「実費の一部」をご負担いただくものです．その他の経費は主催学会で負担しており，収益事業ではないことをご理解ください．

スケジュール(予定のため，変更の可能性があります)：(敬称略)

1日目 9月9日(金)

0830-0845 受付

0845-0900 主旨説明と事務連絡

0900-1045 重度者の在宅療養におけるインシデント・アクシデント：小倉朗子先生

1045-1100 休憩

1100-1245 患者の転倒転落の現状と予防：長尾能雅先生

1245-1400 昼食(各自)

1400-1545 ICUとは何か，患者のモニタリングとは何か：藤野裕士先生

1545-1600 休憩

1600-1745 認知症について：榊原隆次先生

1745-1815 移動・準備

1815-2030 懇親会

2日目 9月10日(土) (予定)

0915 集合・入館

0930-1100 基礎知識としてのユビキタス/ライフログ技術の現在：矢野和男氏(予定)

1115-1130 WS/概略説明

1130-1230 昼食

1230-1430 WS-分科会

1430-1645 分科会報告と全体討論

1645-1700 closing remark

応募方法

以下の情報を記載した応募文書(別途応募ファイル参照)をEメールで送付してください。

1. 所属・連絡先

- ・氏名(和・英文)，年齢，性別
- ・所属・身分(指導教員がいる場合は指導教員名までお願いします)
- ・所属学会名，参加枠組(学生/一般)
- ・連絡先(e-mail，住所，TEL/FAX，緊急連絡のための携帯電話・携帯メール)

別紙の「個人情報の取扱」についてごらんいただき，ご同意の上，ご提出ください。

2. 応募動機と医療研究に対する興味

- ・今回の入門講座に応募した理由，ならびに，今現在，興味を持っている医療の質・安全に関連する研究テーマについて，3行200字程度にまとめてください．この自己紹介文は全参加者に配布す

る参加者一覧に掲載させていただきます。

・今回が初めてのご参加の方は、なぜこの入門講座に参加しようと思ったのか、簡単に経緯・動機についてのご説明を添付していただけると幸いです。書面審査時に参考にさせていただきます。

書面審査となった場合も、「医療研究に関する」事前知識の量や業績の量は問いません。医療研究に対する興味とこれまでの各専門領域におけるご研究を審査の対象とします。

応募先： collab@qsh.jp

e-mail の Subject(用件)欄に『QSH 入門講座申込』と入れてください。またメール配送トラブルを防ぐため、必ずご自分でも送信記録を取ってお送りください。メールを受け取り次第、受領メールを出しますので（最大で2日程度遅延する場合があります）、3日たっても受領メールが届かない場合は、再度ご連絡をください。

応募〆切：2011年8月25日(木) 午後17時